



落羽松

観音寺市立観音寺東小学校
平成23年度学校だより 第4号
2011年 7月19日

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。この休みが実り多い充実した日々となるよう、保護者及び地域の皆様のご指導・ご支援をよろしく申し上げます。

7月13日(水)、私は「洋上学習」の引率で、5年生と一緒に伊吹島に行きました。残念ながら休漁中のため、煮干し加工場でのいりこの生産過程を見学することができませんでした。しかし、島の子どもたちとのふれあいや民族資料館の見学、伊吹島から観音寺市内を眺めた体験、また島巡りや釣り体験など様々な活動ができ、島の歴史や文化を学ぶとともに、自然豊かな自分たちのふるさとを再発見できた貴重な機会となりました。子どもたちは、このような価値ある体験を通して、自然への畏敬の念を抱いたり知的好奇心を高めたりします。また、そのような活動を繰り返す中で、自立性や主体性が培われます。

ものを作る、課題について調べる、料理をする、動植物を育てるなど、日常生活の中でもいろいろな体験ができます。試行錯誤しながら自分の課題を解決していく過程で、考える力や判断力、学び方等が身に付き、感性が豊かになります。すなわち、今の教育に求められている「生きる力」をはぐくむこととなります。

日頃、子どもとの時間がなかなかとれないという保護者の皆様、夏休みは一緒に過ごす時間も積極的に作り、親子のふれあいを深めるとともに、子どもの伸びゆく姿をしっかりと見守っていただけることを期待しています。



不審者侵入対応避難訓練の実施



6月27日(月)、不審者の侵入を想定した避難訓練と教職員の通報・対応訓練を行いました。

- ・警察署員が演じた不審者が校舎内に侵入し、学級担任の制止を振り切ったため、職員が駆けつけ対応する。
- ・その間に、担任は子どもたちを避難させる。
- ・同時に、職員室から110番通報し、駆けつけた警察官が、不審者を取り押さえる。という内容です。



訓練後には、子どもたちが直接見ることはできなかった、不審者と教職員や警察官とのやりとりの様子をビデオで見たり、自分を守るために心がけておきたいことなどについて警察官からお話を聞いたりしました。

当日は、校区内の「安全・安心パトロール員」の方々も参加していただき、防犯グッズの貸与式と併せて子どもたちとの対面も行うことができました。

裏面もごらんください

東っ子オリンピックの実施



<開会式>



<バランスボール>



<平行棒>

7月8日（金）、「いきいきタイム」に、自分が選んで練習してきた種目で技を競い合う「東っ子オリンピック大会」を開催しました。挑戦種目は、上記の2種目の他にも「一輪車」「竹馬」「ジグザグ」「フラフープ」「うんてい」「タイヤとび」「鉄棒（逆上がり）」「鉄棒（ぶら下がり）」の、計10種目で実施しました。学年毎に記録に挑戦し、上位の人には、手作りのメダルが授与されました。

はまひろがおのお話会

7月6日（水）の昼休み、読書ボランティア“はまひろがお”の皆さんによる「七夕お話会」が開催されました。この日を楽しみにしていた多くの子どもたちが参加し、ボランティアの皆さんの個性ある朗読に聞き惚れていました。

また、用意していただいた笹に一人一人が願いを書いた短冊を飾りつけるなど、七夕ムードいっぱいのすてきな時間を過ごしました。



学校保健委員会の開催



7月8日（金）の夜、自治会別懇談会と第1回学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会では、講師として学校歯科医の合田和生先生をお招きし、『口から始める健康』という演題で講話をお聞きしました。虫歯を予防することが健康を守るためにはとても大切なこと、またその虫歯を予防するためには、定期的に歯科医の診察を受けることが大切であることなど、資料を提示しながら丁寧に説明していただきました。

「しつけ」の三原則と指導のコツ

- 1 朝、必ず親にあいさつをする子にすること。 <ある大学の先生の話から>
- 2 親に呼ばれたら必ず、「ハイ」とはっきり返事のできる子にすること。
- 3 履き物を脱いだら必ずそろえ、席を立ったら必ず椅子を入れる子にすること。

この三つのしつけが真に徹底すれば、子どもはいつの間にやら素直になり、親の言うことをよく聞くようになる。コップが上向きになったように心の受け入れ体制が整うからだそうです。

◎ 指導のコツ 保護者自身が、家庭で朝のあいさつや履き物をそろえて脱ぐよう努力すること。

また、それができた時は、しっかり褒めることも大切なことです。

長い夏休み、家庭教育の大きな目標として掲げ、家族全員で取り組んでみてはいかがでしょうか。